

PDF



スブタ

上左：社町1984 . 8 .

上右・下：三木市1983 . 8 .

## 27 . スブタ

茎はきわめて短く、下部から多数の丈夫な根を出す。葉は根生し、長さ10～40cm、幅4～8mm、線形で、先はしだいに細くなり、縁に細かいきよ歯がある。緑色ないし紫褐色をおびる。花は8～10月に3枚の白色の花びらを水面上に出して咲く。

ヤナギスブタとは茎がきわめて短かく、葉が根生することと、花のつく苞鞘に柄がある（ヤナギスブタにはない）ことで区別する。

スブタの名の由来は牧野日本植物図鑑（昭和15年発刊）には

「和名すぶた其簇々ト叢生セル草状宛モ鬚々ト亂レタル女子ノ頭髮の如ケレバスク謂フ、而シテ此如キ女子ノ頭髮ヲ尾張名古屋ニテすぶた髪ト謂フト云ヘリ。」

とある。しかし、古語のすぶはすぼめるとか、分かれたものを1つにまとめるという意味のことば

で、女性の長くのばした髪を束ね、たれ下げたものをすべしがみ（垂髪）というのをすぶたがみとしたものではないかと考えると、スプタはその束ねた髪のように葉が根生している状態を意味していると思う。

